

学習指導要領
東京都教育委員会教育目標
府中市教育委員会教育目標
第2次府中市学校教育プラン

武蔵台小学校教育目標

◎よく考える子ども
(自ら課題を見つけ、深く考え、判断し、解決する子ども)

○思いやりのある子ども
(豊かな情操と瑞々しい感性をもち、互いを大切にする子ども)

○じょうぶな子ども
(健康で明るく、自らめあてをもって努力する子ども)

期待する子ども像

子どもの思いや願いが開花する学校を目指して、知・徳・体の調和のとれた子どもすなわち、子ども自身が何をなすべきかを考え、考えたことを自分の言葉で伝え、自他の生命や人権を尊重し行動できる、たくましい武小っ子を育成する。

学校経営計画

「SMILE! 一人一人の笑顔が輝く学校に」
～ すべての教職員で すべての子ども達を育てる ～

◇子どもたち一人一人が伸びる学校 (確かな学力の定着・豊かな心と健やかな体の育成)

◇安全に安心して学べる学校 (安全教育の充実、互いに認め合う学習環境の創出)

◇深い児童理解に基づき教職員が互いに高め合う学校 (児童理解力・授業力の向上)

◇家庭・地域社会と共にあゆむ学校 (地域に開かれ、信頼される学校)

各教科の重点

- 基礎・基本の学力定着
- 主体的・対話的で深い学びを重視した授業形態
- 情報リテラシーの育成
- 学びに向かう力の育成
 - ・児童の意欲の尊重
 - ・学びの環境整備
 - ・思考過程の振り返り

総合的な学習の時間の重点

- 自ら課題を見つけ、解決方法を模索し追究する力の育成

特別活動の指導の重点

- 心身の調和のとれた発達と個性の伸長
- 集団の一員として自覚を深め、協力してより良い生活を築こうとする自主的、実践的態度の育成

【 本校における「確かな学力」育成 】

- ①武蔵台小版「学習の心構え」に沿った指導を継続し、全校での定着を図る。
- ②教育課程編成を踏まえた標準時数を確保するとともに、朝の15分間学習を継続し、基礎学力の定着を図る。
- ③少人数指導加配教員、講師、学校支援員などを適切に活用して、日常的に個に応じた指導の工夫を図る。
- ④焦点化・視覚化・明確化を意識したユニバーサルデザインの授業を実施し、「分かる」授業を創造する。
- ⑤体験的な活動や問題解決的な学習、タブレット端末等のICT機器の活用を取り入れた授業改善を行い、様々な教科・領域において「主体的・対話的で深い学び」を成立させる。

道徳教育の指導の重点

- 道徳的な判断力・実践力の育成
- 指導方法の工夫・改善、交換授業の実施
- 道徳授業地区公開講座の実施
- いじめ防止への授業の充実

生活指導の重点

- 全校一致の指導体制で生活指導の充実
- (素早い集合・整列や素直なあいさつや返事、整然とした靴箱の使用や敬称を付けた友達呼び方、温かい言葉遣いの励行等)
- 特別支援教育の推進

キャリア教育の重点

- 多様な学習体験
- 自己肯定感の伸長
- キャリアパスポートの活用

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究・研修の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ◇東京ベーシックドリルを活用した個に応じた指導の推進 ◇1単位時間のねらいの明確化及び振り返りの重視 ◇体験的な学習や問題解決的な学習の重視 ◇恵まれた自然環境や遺跡等を活用した学習の工夫 ◇豊かな言語感覚を身に付けるため、詩の暗唱への取り組み(毎月1編) ◇ICT機器の効果的な活用をし、焦点化した授業の実施 ◇漢字検定、算数検定の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◇余剰時間の適切な確保 ◇行事等の適正な実施と、教科領域時数の確保 ◇始業前の朝の時間活用 <ul style="list-style-type: none"> ・目や耳から入る英語活動 ・読書タイム ・基礎学習 ◇月1回の放課後チャレンジの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・補助的な学習 ・学習への意欲付け ◇低学年から、ALTを活用した英語活動の実施 (1・2年生 16時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分の考えをもち、表現する力の育成を図るための国語科を中心とする校内研究 ◇特別支援教育への理解を深める研修会の実施 ◇道徳科の教材研究の充実を図り、交換授業を実施 ◇学習活動および、学校生活全般における府中第七中学校と府中第七小学校との小中連携の実施 ◇主幹・主任教諭による、授業力アップを図る授業公開及びミニOJT研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◇子どもの振り返りや自己評価を生かした学習活動の評価 ◇教科毎に作成した評価規準・評価基準に基づいた指導と評価の一体化 ◇学校評価システムによる関係者評価(保護者・児童)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◇保護者や教員等による年2回の読書週間の読み聞かせ ◇武蔵台学園や信愛泉苑との交流、自然保存会との裏山環境保全活動 ◇第七地区青少年対委員会との連携や、地域行事への参加 ◇子どもの安全を目指した地域懇談会 ◇地域コーディネーターを活用したふるさと学習の充実 ◇保護者、地域アンケートと学校内部評価との認識相違点の把握